

2026年2月13日

各 位

会社名 Kudan株式会社  
(コード番号4425 東証グロース)

代表者名 代表取締役 CEO 項 大雨  
問合せ先 管理部長 石井 達裕  
(TEL.03-6892-7333)

## Kudan、フォトリアル3Dデジタルツイン基盤のクラウド版 「Kudan PRISM Cloud」をグローバル市場向けに正式提供開始

～3D空間データの“民主化”を実現し、全社・全拠点連携型のデジタルツイン活用を加速～

Kudan株式会社(本社：東京都、CEO：項大雨、以下「Kudan」)は、フォトリアル3Dデジタルツインプラットフォーム「Kudan PRISM (Photo-Realistic Integrated Spatial Management)」のクラウド版である「PRISM Cloud」を、本日よりグローバル市場向けに正式提供開始いたしました。

PRISM Cloudは、従来、高性能PCや専用ソフトウェアに依存していた3D空間データをWebブラウザ経由で活用可能とし、現場・本社・海外拠点をシームレスにつなぐ空間データ統合基盤です。インフラ、エネルギー、製造、建設などの産業分野において、デジタルツインをPoC段階から全社活用フェーズへと進化させます。

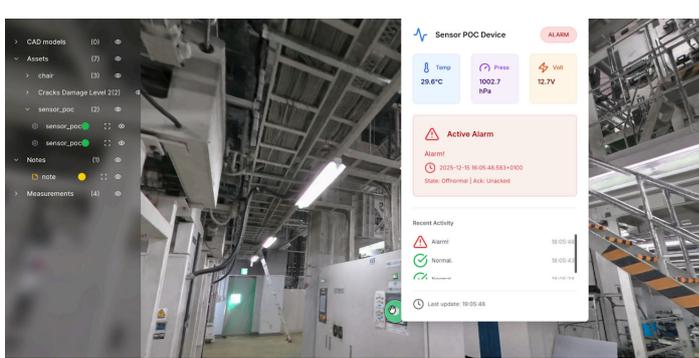
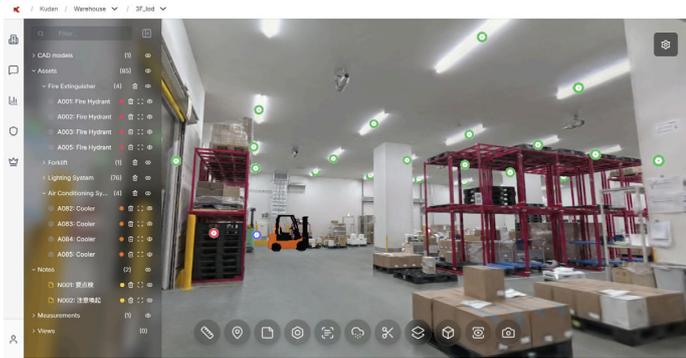
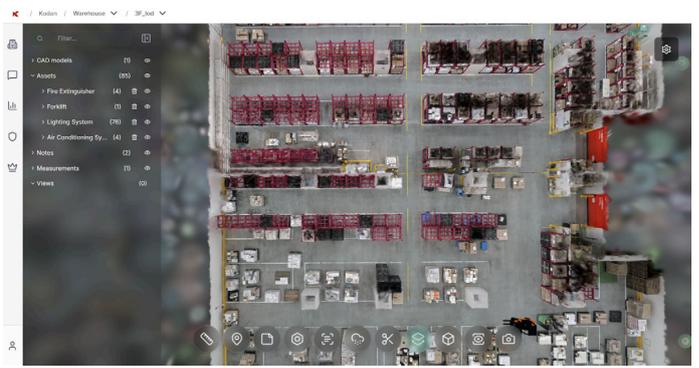
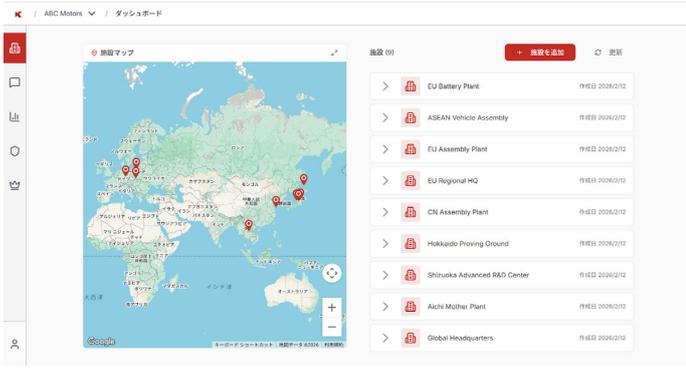
近年、デジタルツインの導入は進展しているものの、データ容量や専門性の制約により部門内に留まる「サイロ化」が課題となっています。PRISM Cloudは、Kudan独自の空間知覚技術と最新の3D Gaussian Splatting (3DGS) 技術を統合することで、「誰でも・どこからでも・即座に」アクセス可能な環境を提供し、3D空間データを組織横断で活用できる基盤へと転換します。

本プラットフォームは、ブラウザベースかつデバイス非依存の設計により高いアクセシビリティを実現するとともに、PoCから全社展開まで対応可能なスケーラブル構成を採用しています。さらに、APIを通じた既存システムとの連携や、パブリック/プライベートクラウドへの柔軟な対応により、各企業の運用要件に即した導入を可能とします。

また、オンプレミス運用や高セキュリティ環境に対応する「PRISM Edge」とのハイブリッド構成により、現場最適化と全社連携を両立します。Edgeで生成されたデータをCloudに統合することで、単一拠点での活用からグローバル横断型運用へと段階的に拡張可能です。

Kudan PRISMは、分断された3D空間データを組織の資産へ、さらに全社で共有される経営基盤へと進化させるプラットフォームです。Kudanは本基盤を通じて、物理空間を統合された経営資源へと転換し、産業分野における高度な意思決定を支援するとともに、設備・インフラの維持管理効率化や技術継承のデジタル化といった構造的課題の解決を推進してまいります。

本開示内容による当期業績への影響は、既に業績予想に反映済みであり、現時点において追加的な影響が生じる見込みはございません。なお、今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに公表いたします。



## 【Kudan株式会社について】

Kudanは、フィジカルAIの発展を支える空間知覚技術＝「機械の眼」を提供し、次世代デジタルツインとロボットの中核を担います。現実空間を知覚してデジタルツインを生成しAIが理解することで、現場管理のDXや生産性向上に貢献します。また、ロボットが空間をデジタルに知覚し、複雑環境での自律行動を行うための基盤技術も提供しています。

詳細な情報は、Kudanのウェブサイト (<https://www.kudan.io/jp/>) をご参照ください。

### ■会社概要

会社名：Kudan株式会社  
 証券コード：4425（東証グロース）  
 代表者：代表取締役CEO 項大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)